

令和 8 年度

事業計画

総会

項 目	第 21 回通常社員総会
日時・場所	2026（令 8）年 5 月 17 日（日） 10：00～ しいの実シアター
審議事項	・ 2025（令 7）年度 事業報告、会費報告、決算報告の件 ・ 2026（令 8）年度 事業計画、収支予算の件

理事会

項 目	第 1 回理事会（通算 128 回）
日時・場所	2026（令8）年 5月8日（金） 16：00～18：00 しいの実シアター
審議事項	・ 2025（令 7）年度 事業報告、会費報告、決算報告の承認 ・ 2026（令 8）年度 事業計画、収支予算の承認

以後、3 回程度の理事会を開催し、NPO の運営について協議する。

他団体の事務局運営

八雲町地域振興活動団体交流会（やくもネット）	事務局とポータルサイトの運営
島根演劇ネット	島根県次世代育成事業の実施とりまとめ

事業名	社会貢献事業 八雲小学校 琴の授業サポート
名 前	有田美由樹
趣 旨	八雲小学校 4、5、6 年生の和楽器琴の授業の際、琴の貸出しと授業サポートを行う。
概 要	2027（令 9）年 1 月～2 月 24 時間程度

今年度は、6月に指定管理事業で国内秀作公演として、「セロ弾きのゴーシュ」を上演し、11月にアーティスト・イン・レジデンス事業として「ペーパー」を企画・制作・上演するため、法人事業の劇団公演事業は実施しない。

<2026(令8)年度 事業計画>

法人事業 表現・コミュニケーション能力育成事業

現在、事業依頼が入っているものは、下記のとおり

小・中・大学		実施月日	対 象
松江市	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R8/6～R8/12未定 6日8回	1年、2年、3年と支援学級
	島根県立大学4年制 教育保育学科 1年生	R8/4/16 1回	県立大学松江体育館アリーナ
県内	大田市立高山小学校	R8/未定	全校生を3グループに分けて、各2回
	吉賀町立六日市中学校	R8/6/10未定	学年ごとで3回 2回目は全校生を2つに分ける

企業、地域、PTA、その他		実施月日	対 象
松江市内	保育士スキルアップ研修(東部)	R8/8/4	東部 保育士(くにびきメッセ 小ホール)
	八雲公民館 ファミリーサークル	R8/6/13	小学生(希望者)
	八雲中東出雲中リーダー研修ワーク	R9/1未定	両中学生 30名程度 公民館事業
県内	保育士スキルアップ研修(西部)	R8/9/7	西部 保育士(浜田いわみーる)
	(株)日新 新入社員研修ワーク	R9/3未定	新入社員+担当者

＜2026（令8）年度 事業計画＞

法人事業（自主財源事業） 誘 客 事 業

事業名	森の劇場でお花見を！ （松江市指定管理自主財源事業）
入場目標	500 人
趣 旨 目 的	劇場の桜を通して周辺環境の魅力を市民に周知し、演劇に興味・関心が薄い人にも足を運んでもらい、しいの実シアターの認知度アップを目指す。 加えて、6 月公演の「セロ弾きのゴーシュ」の稽古を公開し、劇場と演劇に親しみを持ってもらうことを目指す。
事業概要	【日時】 2026（令8）年4月4日（土）～5日（日） 【稽古公開】「セロ弾きのゴーシュ」の稽古を無料公開する 【対象】 家族連れ、高齢者等の市民と近隣市町の住民 【出店】 15 店舗程度

事業名	落ち葉を集めて森を育てよう！ （松江市指定管理自主財源事業）
参加目標	20 人
趣 旨 目 的	松江市内及び近辺の小・中学生に参加してもらい、落ち葉を集めて堆肥にする。 汗を流して労働することを知らないこどもたちに、作業をしながら道具の使い方を覚え、コツを知って工夫する喜び、労働の達成感・充実感を味わってもらい、森の劇場への親しみを育成する。
事業概要	【日時】 令和8年12月 【参加】 市民親子20人程度

事業名	焚き火と音楽の夕べ （松江市指定管理自主財源事業）
事業概要	令和8年度は、指定管理事業のアーティスト・イン・レジデンスを11月23日まで長期に行うため、本事業は行わない。

＜2026（令8）年度 事業計画＞ **法人事業（自主財源事業） 物販事業**

○しいの実シアター

指定管理事業、自主財源事業（誘客事業）で、グッズや地域産品等の販売を行なう。

公式LINEアカウントにより入荷情報を発信して、物品販売を行う。

○かやぶき交流館

指定管理事業により、交流館の来場者を対象に、地元産品等の販売を行なう

<2026(令8)年度 事業計画> 松江市指定管理事業 八雲林間劇場

事業1	国内秀作公演 劇団あしぶえ公演「セロ弾きのゴーシュ」	
予 算	指定管理料	1,858,000 円
	チケット収入	232,000 円
趣旨目的	初演から数えて37年、通算221回～224回公演となる本作はしいの実シアターの宝であり、上演するたびに内容が深まってきている。より多くの市民に提供したい。	
事業概要	【出演】劇団あしぶえ 【対象】6歳以上 【日程】一般公演：2026（令8）年6月14日（日）2ステージ 学校団体公演 6月15日（月）2ステージ 【料金】大人：3,000円 18歳以下：500円 18歳以下の子ども同伴の大人は半額の1,500円とする。	

事業2	幼児対象舞台公演 人形劇団クラルテ公演「赤いめんどり」 「〇△□～なにしてあそぼ～」	
予 算	指定管理料	473,000 円
	チケット収入	44,000 円
趣旨目的	子どもたちに「演劇」との出会いを提供し感性を育てる事業で、平成13（2001）年度から25年継続している。市内の近隣幼保園は毎年楽しみにし、募集すればすぐに満席になるため、今年度は上演日を2日から3日に延長する。	
事業概要	【日程】令和8（2026）年7月8日（水）～10日（金） 【回数】1日1ステージ×3日＝3ステージ 【料金】500円 【対象】幼児、高齢者	

事業3	未来学校事業 しいの実シアター未来学校	
予 算	指定管理料	322,000 円 指定管理料のみでは実施できないため、参加費値上げと助成金申請により対応する。
	助成金	「2026年度日本郵便年賀寄付金助成金」 497,000 円
	参加費収入	劇あそび3日間コース：7,000円×20人＝140,000円 劇づくり4日間コース：10,000円×20人＝200,000円
趣旨目的	大人の指示・干渉のない中、初めて出会った子どもたちが折り合いを付けながら、作品選びから衣装づくりまで行うことで自主性と創造性を養う。	
事業概要	【日程】劇あそび3日間コース 令和8年7月31日（金）～8月2日（日） 劇づくり4日間コース 令和8年8月 8日（土）～11日（火・祝） 【講師】田中小百合（ワークショップ講師）有田美由樹（ワークショップ講師） 市岡 洋（演出家・俳優・舞台美術家）	

事業4	アーティスト・イン・レジデンス 日仏合作 「Paper (紙)」公演 (約40分)	
予算	指定管理料	4,715,000円
	助成金	地域創造 4,600,000円 芸術文化振興基金 200万 笹川日仏文化財団 120万
	チケット収入	420,000円。
趣旨目的	演劇の場合、「アーティスト・イン・レジデンス」とは、海外から招聘した芸術家と共に、日本人俳優が文化・言語などの壁を乗り越えて、新たな創造作品を作り上げるもので、島根では初めての企画。この創造過程では地域の人々や子どもたちが稽古を見学し、アーティストとのトークやワークショップに参加することもでき、出来上がった作品を観客として観て、演劇作品の全体像を知る、という事業である。 しいの実シアターでは、今までフランス在住のロシア人女優・ポリーナ・ポリソヴァ演じる「GO!」を通算4回招いて公演し、こどもから高齢者までの観客を感動させ、驚かせた。この4回公演でポリーナ・ポリソヴァの才能と人柄の良さを知り、この度、演出家として招聘し国内女優2人のノンバーバル作品を制作し、本公演後は、ブラッシュアップを重ねて、しいの実シアターの宝としたい。 芸術創造の場合、文化・言語が大きな障害となるが、演出家、通訳、出演者が、英語、ロシア語、フランス語、日本語を織り交ぜながら稽古を重ねていく。出演女優は、あしぶえの有田美由樹と劇団青年団の松田弘子（神奈川在住）の2人。稽古期間中に行われるワークショップには、あしぶえの劇団員が参加し、演出家への刺激を与える。本作は紙を重要な小道具として使用するため、松江・八雲の民芸紙も使用する予定。	
事業概要	【稽古】①6月12日（金）～6月25日（木）②9月1日（火）～9月10日（木） ③10月1日（木）～10月10日（土）④11月10日（火）～11月20日（金） 【本番】令和8年11月21日（土）1ステージ 22日（日）、23日（月・祝）各2ステージ 合計5ステージ 【対象】小学生以上 【言語】ノンバーバル 【料金】大人2,000円 18歳以下 1,000円	

<2026(令8)年度 事業計画> 松江市指定管理事業 かやぶき交流館

貸館事業

しいの実シアターで上演する「セロ弾きのゴーシュ」「ペーパー」のチラシに、かやぶき交流館の利用案内も掲載し松江市内の公民館等訪問により、貸館利用増を図りたい

事業名	令和10年度開催の「第9回松江・森の演劇祭」の前々年度計画
事業の趣旨 および目的	【目的】 子どもたちから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れて、演劇の楽しさ・深さと感動を味わうことによって、明日への豊かな暮らしに繋がっていくことを目指す。 そして、演劇祭を企画・運営するスタッフとクルーが、Bit by Bit の精神で演劇祭を長く続けることによって、ひとの力・まちの力が増して、松江のまちが<国際的で柔軟な感性が広がるまち・市民が誇れるまち>になることを目指す。
今年度の 活動内容	令和7年度開催の「第8回松江・森の演劇祭」では、「松江・森の演劇ゾーン」だけで実施し、来場者・出店者・ボランティア・運営本部共にこのゾーンに集中して開催することができた。けれども観客用の駐車場をゾーン内に限定したため来場者の落ち込みはやむを得ない結果となった。加えて令和6年度の指定管理更新に伴い、演劇祭補助金が見直され、開催前々年度と開催前年度の経費が500万から250万に減額されたことによって、活動内容が限定されたことはやむを得ない。 <u>令和8年度の業務内容</u> ① 海外劇団選定のため、国内開催の国際演劇祭で出演交渉を行う。 ② 国内劇団選定のため、各種資料による選定作業。 ③ 第8回の参加劇団資料を基に、次回招聘劇団用の各種書類の整備 ④ 興行ビザ申請に係る業務の整理 ⑤ 雨天時の上演会場整備方法、臨時駐車場等の見直し 以上の各項目を見直し・実施によって第9回の基本プランを作成する
今後の活動 計画や事業 の継続性	諸物価高騰、市民の暮らしの変化に対応する演劇祭開催の新たな方策を見つけていく。 ① 劇場周辺における来場者用駐車場の確保の見直し。 ② 演劇祭開催準備についての新スタッフの育成 ③ 演劇の知識を持ち、国内外劇団との交渉能力をもつ人材の確保。